

令和2年度事業報告

社会福祉法人 金沢市社会福祉協議会

令和2年度 社会福祉法人金沢市社会福祉協議会事業報告

I 総括

地域における人と人の支え合い体制の充実を基本に、住民やボランティア等の積極的な参加・協力を得て、福祉団体や福祉サービス事業者・専門機関・行政等と連携・協力を図りながら、社会福祉協議会の有する専門的機能や公共性の高い非営利の民間組織としての特性をいかしつつ、市民が安心して、いきいきと暮らせる地域共生社会の実現に向けた取り組みを推進した。

II 重点目標の達成状況

- 1 地域共生社会の実現に向けて、市民と様々な機関・団体等が協働し、地域で支え合う仕組みや地域課題の解決を図ることができる体制を充実・強化した。
また、コロナ禍における地域福祉活動推進の方策について、研究・情報収集を行い、地域でのつながりを絶やさない多様な活動に取り組んだ。
- 2 誰もが安心して暮らせる地域社会づくりを進めるため、判断能力の低下した人や障がいのある人、生活に困窮する人、虐待や引きこもりに直面する人など、社会的に孤立する人々への相談支援体制を充実した。
特に、コロナ禍の影響により、生活に困窮した人への相談支援体制を強化し、重点的に支援を行った。
- 3 社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るため、社会福祉事業推進に関する調査研究、福祉人材の養成・確保・定着及び質の向上に取り組んだ。
- 4 地域福祉活動への市民の参加を促進するため、ボランティアセンター機能の充実を図るとともに、災害時の支援体制を強化するため、支援関係機関・団体のネットワークづくりに取り組んだ。
- 5 法人の基盤及び機能の強化を図るため、関係機関との連携強化、職員研修体制の整備、事務の効率化、財政基盤の強化に取り組んだ。
また、感染予防対策の徹底や、ICTを活用した地域福祉活動の推進方策の研究に取り組んだ。

Ⅲ 事業内容

1 地域で支え合う仕組みや地域課題の解決を図ることができる体制の構築（地域福祉の推進）

(1) 地区社会福祉協議会（地区社協）活動の支援〔地区社協会長部会と連携して実施〕

ア 情報交換・課題協議

- ・地区社協会長部会役員会（8回・5月、6月、8月、9月、11月、12月、1月、3月）※5月は資料送付
- ・地区社協会長会議（4回・4月、7月、10月、2月）※4月は書面審議
- ・ブロック別地区社協・民児協会議（8回・ブロックごとに開催）
- ・地区社協事務担当者会議（1回・4月）※資料送付

イ 研修

- ・地区社協会長研修会（1回・2月）
テーマ「新型コロナウイルス感染症の正しい理解および石川県の医療体制について」
- ・地区社協職員研修会（1回・3月）
テーマ「令和2年度コロナ禍における地区社協事業の変更について
～各地区の返納見込額、変更申請手続き、返納金の会計処理～」
「令和2年度事業報告・決算報告、令和3年度事業計画・予算について
～地区社協、地域サロン、子育てサロン、まちぐるみ等～」
「令和3年度事業計画・予算編成の留意事項について
～地域の身近な福祉相談窓口、地域福祉支援コーディネーター等～」

ウ 活動支援

- ・市社協ブロック担当職員による相談対応・情報提供・年6回巡回訪問・個別訪問
- ・地区社協実施事業（地域安心生活支え合い事業、地域福祉支援コーディネーター配置、地域の身近な福祉相談窓口設置、地域福祉座談会、地域サロン、子育てサロン等）実施に係る支援
- ・地区社協会計システムの運用支援
- ・地区社協・民児協の管理運営の手引き及び地区社協・民児協会計管理ガイドラインの改訂、手引き及びガイドラインによる助言
- ・地区社協・民児協会計管理ガイドラインQ&Aの作成
- ・地区社協事業・財源等に関する調査
- ・地区社協活動の市民へのPR（ホームページ等）

(2) 民生委員児童委員活動の支援〔民生委員児童委員協議会（市民児協）と連携して実施〕

ア 情報交換・課題協議

- ・市民児協役員会（12回・毎月）※5月は書面審議
- ・市民児協正副会長会議（随時）
- ・市民児協総会（2回・5月、3月）※5月は書面審議
- ・地区民児協会長定例会（11回・8月を除く毎月）

※4月は資料送付、5月は書面審議

- ・主任児童委員連絡会理事会（4回・4月、8月、11月、2月）※4月は書面審議
- ・主任児童委員連絡会全体会議（1回・10月）
- ・ブロック別地区社協・民児協会議（8回・ブロックごとに開催）

イ 研修

- ・地区民児協会長研修会（1回・2月）
テーマ「民生委員児童委員活動に思いを寄せて～出会い、思い出、今後の活動～」
- ・民生委員児童委員実務研修会（6回、延べ810人参加）※うち動画視聴410人
階層別「新任研修（1期）」（3回・10月）
「中堅委員研修（2・3期）」（1回・10月）
「中堅委員研修（4期以上）」（1回・10月）
「地区民児協リーダー（副会長）研修」（1回・10月）
- ・子どもの見守り研修（1回、69人参加）※うち動画視聴43人
テーマ「子ども・子育てに関する社会資源と民生委員児童委員」
社会資源：心の絆サポーター（スクールソーシャルワーカー）、子どもの虐待防止ネットワーク石川、ハッピーペアレントサロン石川、金沢市子どもソーシャルワーカー
- ・主任児童委員研修会（1回・89人参加）※うち動画視聴44人
※主任児童委員・家庭教育サポーター合同研修
テーマ「主任児童委員の職務内容について」
「家庭教育サポーターの職務内容および福祉と教育の連携にかかるモデル事例について」
「保護者との関わり方のポイント～保護者の心理を理解して～」
- ・ブロック別研修会（2・3・4・7ブロック各1回 延べ197人参加）
テーマ「ボランティア（参加）の力」「防災と民生委員活動」
「①新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～ ②今さら聞けない新型コロナウイルスの対策・対応 Q&A～民生委員活動上の不安や疑問を共有しましょう～」
「人権と人権問題について
～新型コロナウイルスによる差別・偏見を防ぐ～」

ウ 活動支援等

- ・市社協ブロック担当職員による相談対応・情報提供等
- ・民生委員児童委員活動の市民への紹介・PR（ホームページ等）※街頭PR活動中止
- ・ブロック別主任児童委員連絡会への助成
- ・金沢市介護相談員派遣事業への協力
- ・金沢市家庭教育サポーター事業への協力
- ・民生委員児童委員活動保険への加入（事故報告2件受付）
- ・全国民生委員児童委員互助事業（47件、545,000円給付）
- ・金沢市民児協慶弔規則（37件、400,000円給付）

- ・被災地民児協支援募金への協力…947,000円（令和2年7月豪雨）

(3) 生活支援・介護予防の基盤整備に向けた取り組みの推進（生活支援体制整備事業）

生活支援コーディネーターを配置し取り組みを推進

〔第1層（市全域）1人、第2層（ブロック担当）4人〕

ア 地域のニーズと資源の見える化・問題提起

- ・「お宝探しワークショップ」（身近な支え合い活動の発掘）の開催
5地区延べ6回開催

〔開催地区〕浅野川、湯涌、犀川、浅川、味噌蔵

- ・地域支え合い百万石通信（つどいの場の情報）の発行…11回（No.1～No.11）発行
- ・つどいの場 Googlemap の作成…地域包括支援センター圏域ごとの地図（マップ）により、つどいの場を見える化
- ・金沢アクティブシニア実践事例集・動画の作成…5,000部

イ 目指す地域の姿・方針の共有・意識の統一（第2層協議体の取り組み）

- ・ブロック別地区社協民児協会議の開催…各ブロック（1～8）で開催
- ・3ブロック地区社協意見交換会を開催

ウ 地縁組織等多様な主体への協力依頼等の働きかけ（第3層協議体の取り組み）

- ・各地区地域福祉座談会等の開催…37地区等で130回開催

エ 関係者のネットワーク化

- ・生活支援体制整備事業連絡会の開催（3回）
金沢市、地域包括支援センター連絡会役員、市社協生活支援コーディネーターによる活動報告・今後の連携についての会議
- ・地域包括支援センターとの連携
運営懇談会への参画…19センター27回
地域ケア部会への出席…3回
地域ケア会議等への出席…9センター20回
- ・金沢にコミュニティバスを走らせる会研修会

オ 生活支援の担い手の養成・サービスの開発

- ・地域包括支援センターと生活支援コーディネーターの地域づくりに関する意見交換会
38人参加
- ・地域サロン運営担当者情報交換会
68人参加
- ・地域安心生活支え合い事業実務担当者情報交換会
33人参加
- ・社会福祉法人による地域貢献活動情報交換会の実施
→ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(4) 地域の見守り・相談・支援体制の充実

ア 地域の身近な福祉相談窓口の設置

- ・市内48地区（新規16地区）において、地域住民が気軽に相談ができる環境を整備

[設置地区]

野町、十一屋、泉野、新塲、菊川、内川、弥生、中村、長町、長土塚、此花、瓢箪、小立野、材木、味噌蔵、崎浦、犀川、湯涌、浅川、馬場、浅野、森山、小坂、森本、夕日寺、千坂、長田、大野、戸板、大徳、金石、西、諸江、鞍月、浅野川、栗崎、川北、富樫、三馬、扇台、伏見台、米泉、米丸、二塚、安原、押野、新神田、三和

- ・相談受付件数2, 148件(解決1, 756件、関係機関へのつなぎ315件、地域共生ソーシャルワーカーへのつなぎ45件、死去・連絡途絶えた等8件、その他24件)
- ・相談窓口開設にあたり、相談員養成研修を開催(コロナにより地区毎に個別に実施)
- ・相談窓口の周知等

市社協広報誌による周知

イ 地域安心生活支え合い事業

- ・市内47地区(新規着手9地区)において、地域住民主体の見守り・相談・支援体制を構築

[実施地区と事業開始年度]

平成25年度～ 新塲、米丸(モデル地区として実施)

平成28年度～ 十一屋、中村、浅川、千坂、長田、諸江、伏見台、西南部

平成29年度～ 内川、長町、味噌蔵、浅野、夕日寺、西、浅野川、米泉、三和

平成30年度～ 菊川、芳斉、小立野、崎浦、小坂、大徳、栗崎、四十万、押野

令和元年度～ 泉野、此花、瓢箪、湯涌、馬場、森本、金石、鞍月、富樫、新神田

令和2年度～ 野町、弥生、松ヶ枝、材木、森山、大野、川北、三馬、二塚

- ・地域安心生活支え合い事業実務担当者情報交換会(3月・1回)

ウ 地域福祉支援コーディネーターの配置

- ・市内16地区(新規8地区)において、地区社協の機能強化を図り、地域の福祉ニーズを踏まえた地域サービスを創出・推進

[配置地区]

十一屋、新塲、中村、芳斉、小立野、味噌蔵、馬場、浅野、長田、金石、栗崎、浅野川、富樫、伏見台、米丸、押野

エ まちぐるみ福祉活動推進事業

- ・まちぐるみ福祉活動推進員の委嘱・3, 120人
- ・「まちぐるみ福祉活動ガイドブック」の作成・配布(3, 550部)
- ・「すこやか長寿」(パンフレット)の作成・配布(14, 000部)
- ・まちぐるみ福祉活動推進員のボランティア活動保険への加入
- ・各地区で実施するまちぐるみ福祉活動推進員研修会への講師派遣等・延べ19地区
- ・まちぐるみ福祉活動推進員・民生委員児童委員が対応する困難ケースへの助言、ケース検討会実施の支援等
- ・退任感謝状の贈呈(26人)

- オ 地域サロン
 - ・地域サロンの設置・市内全地区、274拠点で設置
(2,463回開催、延べ40,555人が参加)
 - ・地域サロン運営担当者研修(12月)
 - ・地域サロン運営支援(巡回訪問、広報、情報提供、課題に対する助言)
- カ 子育てサロン
 - ・子育てサロンの設置・34地区で設置
- キ 児童クラブ
 - ・児童クラブの運営支援(74ヶ所)
- ク 虐待防止、認知症等に関する市民への啓発・研修
 - ・金沢市や児童相談所、地域包括支援センター等の関係機関と協力した虐待防止に向けた取り組みの実施
 - ・高齢者・障害者虐待防止対応専門職チームへの参画
 - ・金沢市・石川県社会福祉士会と共催で虐待防止研修会(動画配信)を開催(3月)
テーマ「コロナ禍における高齢者の生活を守る」
- ケ 地域包括支援センターとの連携強化
 - ・運営懇談会、地域ケア会議、ケース検討会への参加
- コ 子どもの生活支援の取り組み
 - ・スクールソーシャルワーカー活動への協力(1人、石川県教育委員会への協力)

(5) 地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築に向けた取り組みの推進

- ア 地域共生ソーシャルワーカーを配置し、市民が抱える複合的・複雑化した福祉ニーズに対し、必要な支援をコーディネート
 - ・相談件数 568件
 - ・支援世帯 33世帯(94人)
 - ・終結世帯 2世帯
- イ 地域の身近な福祉相談窓口のバックアップ
 - ・相談件数 31件
- ウ 相談者本人および世帯全体が抱える課題の把握・整理・支援プラン作成
 - ・複合課題ケース検討会の開催 30回
 - ・複合課題解決アドバイザー会議の開催 2回
- エ 様々な相談支援機関等と連絡調整
 - ・相談件数 17件
 - ・会議出席 2件
 - ・講師対応 6件
- オ 支援実施状況の把握・指導・助言
 - ・48地区 2,148件を把握し指導、助言。うち45件を引き継ぎ対応

(6) 共同募金運動の支援

ア 情報交換・課題協議

- ・金沢市共同募委員会役員会（8月）
- ・地区共同募委員会事務担当者会議（9月）

イ 研修

- ・地区共同募委員会会長・事務担当者研修会（9月）
テーマ「赤い羽根の強みって何だろう？」
～共感を生み、じぶんの町を良くするしくみを動かすポイント～

ウ 広報啓発・活動支援

- ・市社協情報で募金運動を広報
- ・福祉のつどいで啓発 → 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- ・街頭募金（10月～12月、9回）
- ・イベント募金（10月～12月、1回）

エ 募金実績（金沢市共同募金会取り扱い分）

- ・61,953,512円
（一般募金36,420,143円、歳末募金25,533,369円）

2 判断能力の低下した人や障害のある人、生活に困窮する人への相談支援の充実

(1) 金沢権利擁護センターの運営

ア 高齢者等の権利擁護に関する相談・支援

- ・成年後見制度の利用に関する相談・支援・220件
- ・日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）・契約件数122件

イ 権利擁護に関する人材育成

- ・権利擁護セミナー → 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- ・講師派遣（6回）

ウ 研究協議

- ・運営委員会の開催（2回）※第1回は書面審議
- ・法人成年後見等の試行的な実施（後見受任3件）
- ・専門職団体と金沢家庭裁判の打合せ会
- ・家事関係機関と家庭裁判所との連絡協議会
- ・成年後見制度利用促進部会
- ・成年後見制度にかかる担当者会議

エ 広報

- ・「まちぐるみ福祉活動ガイドブック」、「すこやか長寿」、「障害がある方の便利帳」「金沢市社協情報」、「金沢権利擁護センターパンフレット」等で広報

オ 関係機関との連携

- ・専門職団体との連携強化

成年後見制度連絡協議会、高齢者障害者虐待対応専門職チーム、ぱあとなあ
(石川県社会福祉士会)等への参画

- ・金沢市地域包括支援センター、金沢市障害者基幹相談支援センター等との連携強化
サービス担当者会議、個別支援会議、地域ケア会議へ40回出席

カ 職員の資質向上(研修会等への出席)

- ・成年後見制度利用促進基本計画、障害者差別解消法などに関する研修に職員が参加
(16回、延べ29人)

(2) 金沢自立生活サポートセンターの運営

①生活困窮者自立相談支援事業

ア 自立相談支援事業の実施

- ・生活困窮者の包括的な相談・支援及び支援計画(プラン)の作成・サービスの提供
新規受付相談: 1,013件、支援プラン作成: 54件
新規就労者・増収者数: 32件
- ・支援調整会議の開催(20回)
- ・アウトリーチ(自宅訪問、同行支援): 220件
- ・時間外・休日対応件数: 345件

イ 住居確保給付金の相談対応・申請受付

申請受理: 782件、支給決定: 780件

ウ 家計改善支援事業の実施

- ・家計面に課題のある世帯に対する相談・支援の実施
相談・支援: 200件、家計プラン作成: 2件

エ 子どもの学習総合支援事業の実施

- ・学習支援教室の開催(毎週金曜日、隔週土曜日 他)・生活困窮世帯中学生の学習支援と居場所づくり・高校進学後の学習支援と居場所づくり
参加登録者: 39人、教室27回開催、延べ参加者: 236人
→ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月~12月まで49回中止
- ・学習支援ボランティア(大学生)による教室運営・講習会の実施
ボランティア登録者: 60人
- ・ボランティア説明会の開催(11回、参加者: 26人)
- ・企画・運営ミーティングの開催(2回)
- ・学習支援便りの発行(計7回) ※5月~9月まで発行中止
- ・交流イベントの開催(バーベキュー、調理実習、レクリエーション等)
→ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

オ 生活困窮者自立支援連絡協議会の開催

- ・生活困窮者支援団体・関係機関等との連携・情報交換(2回)

- カ 関係機関の会議等への出席
 - ・福祉機関と司法機関・団体等実務担当者連絡協議会、金沢市ホームレス問題連絡協議会
- キ 研修会等への講師派遣
 - ・金沢大学地域創造学類等（1回）
- ク 広報
 - ・パンフレット、金沢市社協情報、「まちぐるみ福祉活動ガイドブック」等で広報
- ケ 職員の資質向上（研修会等への出席）
 - ・生活困窮者自立支援制度従事者養成研修等に職員が参加（4回、延べ8人）

②生活福祉資金貸付事業・生活つなぎ資金貸付事務

- ア 生活福祉資金・臨時特例つなぎ資金（住居を喪失した失業者世帯の自立支援）の相談対応・申請受付
 - 申請受付：11,170件（うち特例貸付：10,946件）
- イ 生活つなぎ資金貸付事務
 - 貸付件数：242件

③新型コロナウイルス感染症により収入が減少した世帯への特例貸付及び住居確保給付金の相談対応・申請受付

- ア 特例貸付相談室の開設（面接相談者：4,597件）
- イ 新規受付相談：4,615件
- ウ 特例貸付申請受付：10,946件
- エ 4月・5月の大型連休（4/29、5/4～5/6）及び年末（12/29、12/30）に、相談窓口を開設

④社会福祉士会等専門職団体と連携した住居喪失者等支援活動

住居喪失や失業等による生活困窮者が生活している場に出向いての相談対応や資金貸付等による支援を、専門職団体が行う活動（見守り、安否確認、食糧・支援物資の提供等）と連携して実施

- ア 巡回相談、路上生活者等支援団体との情報交換会（月2回）
- イ 路上生活者等との交流会 → 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- ウ 元路上生活者15人に年賀状を送付
- エ サポートセンターでの食糧支援・延べ170人
- オ 路上生活者への食糧支援 24回延べ66人
- カ 地域共生ソーシャルワーカーによる緊急支援 7世帯延べ10回

⑤フードバンクネットワーク組織の基盤づくり

フードバンクネットワーク団体への参画

(3) 金沢障害者就業・生活支援センター／障害者雇用定着促進事業

ア 相談・支援の充実

- ・就職に向けた相談支援、準備支援（職場実習または職業準備訓練の斡旋等）
支援登録者：903人、相談件数：5,576件、職場実習等：23件
職場定着支援：471件、新規就労者：62人
- ・生活困窮者のうち障害が窺われる方への支援
自立相談支援事業実施機関や福祉事務所等への相談支援：12件
障害が窺われる者との面談や支援プラン策定の場への同席：76件

イ 在職者の交流活動事業の実施

- ・スッキリ会（精神障害・発達障害のある方対象）：3回開催、延べ28人参加
- ・WAIWAI会（知的障害のある方）：4回開催、延べ40人参加

ウ 就職活動支援セミナーの開催 → 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

エ ピアサポート活動の実施（1回開催、延べ2人参加）

オ 関係機関との連携

- ・就労支援連絡会議の開催（1回）
- ・特別支援学校生徒への支援（4校、職場実習企業巡回訪問、情報交換会等）
- ・関連会議への出席（金沢市障害者自立支援協議会、石川県高次脳機能障害支援関係者連絡会、石川県発達障害者支援体制推進会議等23回出席）
- ・講師派遣（2回）

カ 職員の資質向上（研修会等への出席）

- ・障害者就業・生活支援センター就業支援担当者研修等に職員が参加
（5回、延べ5人）

(4) 金沢福祉用具情報プラザの管理運営（指定管理事業）

ア 展示事業

- ・最新の福祉用具と住宅改修モデルの展示（福祉用具1,210点展示）
- ・展示福祉用具選定部会の開催（11月）
- ・最新福祉用具展示会およびYouTube等でのオンライン展示会の開催（1月）

イ 相談事業

- ・福祉用具、住宅改修、介護、福祉制度に関する相談
（1,585人、2,756件）
- ・衣服リフォーム相談・ボランティアと連携実施（9人、延べ55件着手）
- ・住宅改修・福祉用具適合に関する訪問相談（76件）
- ・適切な福祉用具入手・選定のための福祉用具貸出（1,263人、2,285点）
- ・職員の資質向上（研修会等への出席）

日本作業療法学会、オムツフィッター研修等 → 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

ウ 情報事業

- ・金沢市社協情報、まちぐるみ福祉活動ガイドブック、すこやか長寿、ホームページ、SNS等による情報発信・交換（ホームページアクセス件数：10,862件）
- ・福祉用具開発のための展示福祉用具試用貸出状況データの情報発信

エ 学習事業

- ・介護・医療従事者対象の研修会の開催（13回開催、延べ127人参加）
- ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
 - ・住宅改修基礎講習
 - ・福祉用具専門相談員指定講習会の開催
 - ・難病者等が使うコミュニケーション機器の情報・発信にかかわる専門職のネットワークづくり
 - ・ハンドル型電動車椅子の課題・ニーズ調査
 - ・福祉用具を活用したひとにやさしい介助研修会
 - ・介護用リフト研修会

オ 市民交流事業

- ・地域福祉活動支援（職員派遣3回）
- ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
 - ・市民が集えるイベントの開催（6月・プラザ祭り）
 - ・市民の関心を集めるための催事展示
 - ・市民対象の福祉関連教室の開催
 - ・高齢者疑似体験セット等の体験学習器具の貸出

カ 中日本ブロック介護実習・普及センター連絡会議の参加

→ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

キ 介護保険住宅改修適正化事業

住宅改修の申請者宅への訪問、現地確認・アドバイス（1件、1種類の確認）

ク 施設利用

来館者数：22,171人、研修室利用：55回、視察・見学40件

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4/17～5/31 休館

〃

4/15～9/30 貸館休止

ケ 利用者満足度アンケート（169人回答）

職員対応、館内表示、施設清掃、設備（バリアフリー等）、展示品充実度、専門職員充実度のそれぞれの項目において「満足」「やや満足」が9割以上

(5) 地域活動支援センター

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(6) いきいきギャラリーの運営

ア 高齢者・障害のある方の手作り品の展示・販売

29施設・団体が出展、売り上げ：2,240,309円、2,428人来店

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4/16～5/31 営業休止

イ 展示スペースの貸出（1回）

ウ 地元商店街のイベント協力（2回）

エ 防犯体制の強化

職員及び利用者の安全確保、被害の拡大防止、犯罪行為の抑止を図るため、店内に警察通報用の非常通報装置を設置

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

- ・市民教室
- ・研修室の貸出

(7) 金沢メルシーキャブサービス（車いす使用者の送迎サービス）

ア 利用状況

利用会員：177人、1,071回運行、総利用距離：6,403km（3台）

イ 運転協力会員（ボランティア）の状況

運転協力会員（ボランティア）：86人、延べ運転者数：885人

- ・新規運転協力会員講習（随時）：受講者1人
- ・カウンセリング付一般診断（70歳以上対象）の実施（随時）：受講者3人

ウ 広報

- ・金沢市社協情報、金沢市広報、ホームページ等で利用会員及び運転協力会員募集

3 社会福祉事業に関する調査研究、福祉人材の養成・確保及び福祉サービスの質の向上

(1) 介護・福祉サービス事業者の研修、人材定着の取り組み

①介護サービス事業者連絡会

〔金沢市と連携して実施〕

ア 事業者相互の情報交換・課題協議

- ・理事会（1回）、総会（1回）※書面審議
- ・部会会議（随時）、部会正副部会長会議（随時）

イ 研修・研究協議

- ・全体研修会 → 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- ・ケアプラン研修（2回）、延べ70人参加
テーマ「家族理解のワークショップ」
「困難事例のケアプラン作成において必要な知識」
- ・部会別研修会等・19部会で3回の研修・研究協議を実施
延べ42人参加

ウ 調査研究

- ・事業所情報一覧の作成
- ・アンケート調査
「新型コロナウイルス感染症の対応に関する実態調査」

エ 情報の提供

- ・行政情報の提供（随時）
- ・介護支援専門員および各事業者等への事業者情報の提供

オ 関係機関との連携

- ・金沢市医師会、金沢市歯科医師会、金沢市薬剤師会等の関係機関との連携強化

カ 会員の状況・237法人、774事業所

- キ 新型コロナウイルス感染症対策に関すること
 - ・新型コロナウイルス感染症対策に関する金沢市への要望書の提出
 - ・金沢市高齢者・障害者施設
「新型コロナウイルス感染症クラスター対策に関する意見交換会」への参加
- ク オンライン会議・研修用の備品・機材整備

- ②専門部会（保育部会、老人福祉施設連絡会、地域デイサービス部会、障害児・者福祉施設連絡会）及び介護サービス事業者連絡会等の関係団体と協力しての研修の実施
 - ※「5－（2）専門部会での調査研究、関係機関との連携強化」参照

③介護職員人材定着促進事業

- ア 介護職員の相談・交流の場（ケアワーカーカフェ）の設置
出張型ケアワーカーカフェ（会場：IT ビジネスプラザ等9回開催、延べ24人参加）
※4月15日～6月17日、9月2日以降は中止
- イ カイゴの日常～ケアワーカーリレー～の投稿
金沢市社会福祉協議会公式Facebook および Instagram に掲載（9回）
- ウ かなざわ介護ラボの開催
 - ・実行委員会の開催（5回、延べ38人参加）
 - ・動画の閲覧数（665回）
 - ※新型コロナウイルスの影響を受け、イベントを中止
代替として介護の魅力が伝わる動画を制作し、金沢市公式YouTubeに掲載
- エ SNS・フェイスブック・ポスター等による広報活動実施
- オ 介護職員からの相談対応・3件

④社会福祉事業従事者互助会の運営（民間社会福祉事業従事者の退職共済制度の運営）

- ア 互助会制度の運営・理事会（2回）開催 ※5月は書面審議
代議員会（2回）開催 ※5月は書面審議、3月はWEB会議
- イ 会員・185事業所、2,262人の会員
- ウ 退職手当金の支給
令和2年度退会者182人、退職手当金198,046,980円支給
※保有率72.54%
- エ 貸付制度・3件、5,600,000円貸付

(2) 福祉サービスの質の向上

①介護相談員派遣事業

- ア 介護相談員の派遣
介護相談員52人、派遣回数8回、派遣先63事業所（特養、老健、療養型、
認知症高齢者グループホーム等）
- イ 受入事業所への事務局職員の訪問（随時）
- ウ 介護相談員連絡会（3回）

受入事業所との意見交換会 → 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

エ 研修

- ・介護相談員研修会（3回、延べ103人参加）
 テーマ「コロナ禍における介護相談員活動について」
 「with コロナ時代のコミュニケーションの研修」
 「コロナに負けるな！受入事業所へ応援メッセージを送ろう」
- ・介護相談員現任研修への参加（2人）

カ 調査・研究、広報

- ・広報（受入事業所掲示用ポスターの作成）
- ・活動状況報告書の作成・介護相談・受け入れ事業所への提供（月ごとの報告書）

②実習の受け入れ

社会福祉士養成課程「相談援助実習」における実習生8人を受け入れ

4 ボランティアセンター機能・市民への情報発信機能の充実、災害時の支援体制の強化

(1) ボランティアセンターの運営

ア 相談と調整

- ・ボランティア登録者：12,724人
 （個人3,547人、グループ9,177人・245グループ）
- ・ボランティアに関する相談：27件
- ・ボランティアマッチングシステムを導入し、ボランティア受入施設等と活動希望者の調整を行った。（斡旋件数：27件）

イ 活動支援

- ・福祉ボランティア活動育成事業：61グループに2,575,000円助成
- ・ボランティア活動保険受付：12,724人、保険料助成：1,710,600円
- ・ボランティア行事用保険受付：62,890人（421件の行事）
 保険料助成：210,680円
- ・使用済み切手の収集：31件収集

ウ ネットワークづくり

- ・金沢市福祉ボランティア連絡協議会
 正副会長会議（2回）、理事会（1回）、研修会（1回）

エ 学習／研修

- ・ボランティア講座（3回開催、63人参加）
 テーマ「多文化共生社会を目指して」
 「ボランティア活動におけるICT活用について」
 「障害がある人もない人もみんなで考える防災」
- ・ボランティア講座等への職員派遣（3回）
- ・「ボランティアカフェ@まつがえ」（4回開催、24人参加）

テーマ「『生きづらさ』を一人で抱えていませんか？」

「視覚障害者の就労について考えよう！」

「一緒に泳ごう！水泳ボランティア」

「みんなで育もう！ようこそ産後ケア」

オ 石川県社会福祉協議会・ボランティアセンター、金沢ボランティア大学校との連携

- ・ジュニアボランティア体験事業・8地区で実施
- ・児童・生徒のボランティア活動普及事業・1小学校指定（内川小学校）

カ 企業への社会貢献

- ・市内の企業72社にボランティア講座の参加を呼び掛け
- ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、セミナー形式の研修は中止

キ いきいきシニア介護支援ボランティアポイント事業

※高齢者がボランティア活動を通じて生きがいづくりや健康づくりの促進を図る事業
高齢者がボランティア登録、新規活動者は研修受講、高齢者福祉施設での活動に応じてポイントを付与しクーポン券交付

- ・登録ボランティア：67人（平均年齢76.4歳）／受入施設：60施設
- ・総活動回数：32回

（活動者一人あたり4.6回／月、1回あたり約1時間40分活動）

- ・クーポン券申請者：9人、クーポン券発行数：9冊

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

- ・登録ボランティア講習会
- ・受入施設担当者説明会
- ・受入施設担当者研修会
- ・登録ボランティアと受入施設職員との情報交換会

ク 地域福祉ボランティア推進事業

※新たな地域福祉活動の担い手を生み出す環境づくりを目的とした事業。

地区社協が指定する地域福祉活動に協力する市民がボランティア登録し、その活動に応じてポイントを付与しクーポン券交付

- ・登録ボランティア：158人（平均年齢67.8歳）／受入地区社協：48地区
- ・クーポン券発行者：19人、クーポン券発行数：70冊

(2) 金沢災害ボランティアセンターの体制整備

ア 金沢災害ボランティアセンター運営関係団体とのネットワーク会議

→ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

イ 公益社団法人金沢青年会議所との災害時における協力に関する協定書の締結

- ・金沢市における災害時において、協力して災害ボランティア活動による被災地支援活動を効率的かつ効果的に行うことを目的に協定を締結

ウ 災害ボランティアセンターに関する周知・設置運営に関する研修等

・金沢市内の民生委員児童委員を対象とした研修会での周知

テーマ「災害時における地域連携と民生委員活動について

～金沢市災害ボランティアセンターとの連携～

※災害ボランティアセンター設置・運営訓練は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(3) 広報啓発

①市民への情報発信の充実

・「金沢市社協情報」の発行（18,000部×6回）

・ホームページ、フェイスブック、LINE等による情報発信（LINE登録者360人）

②金沢市社会福祉大会、福祉のつどい、障害者ふれあいコンサートの開催

ア 第66回金沢市社会福祉大会（9月5日、金沢市文化ホールで開催）

・社会福祉事業関係者表彰、被表彰者記念撮影

イ 福祉のつどい2020金沢・ふれあいコンサートの開催

→ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

③人権・同和問題研修会

ア 人権・同和問題に関する研修会の開催（虐待防止研修1回開催※動画配信）

イ 関係機関が実施する人権・同和問題に関する研修会への参加（金沢市・石川県等が主催する人権・同和問題研修会、人権問題講演会等3回参加）

④こどもすくすくランド（未就園児の保護者に、金沢市内の保育所及び認定こども園の活動や子どもの生活の様子の紹介、子育て支援の取り組みについて周知する場）

→ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

5 法人の基盤及び機能の強化

(1) 法人の基盤強化

①法人の運営

ア 理事会（2回）

・6月12日（理事14人、監事3人同意） ※書面審議

令和元年度事業報告・収支決算報告、役員辞任に伴う後任役員候補者の選定、定時評議員会の招集

・3月22日（理事13人、監事3人出席）

令和2年度収支補正予算、令和3年度事業計画・収支予算、理事辞任に伴う後任理事候補者の選定、評議員会の招集

イ 評議員会（2回）

- ・6月29日（評議員15人同意） ※書面審議
令和元年度事業報告・収支決算報告、役員辞任に伴う後任役員の選任
- ・3月30日（評議員13人出席）
令和2年度収支補正予算、令和3年度事業計画・収支予算、理事辞任に伴う後任理事の選任

ウ 監事会（1回）

- ・6月4日（監事3人出席）
令和元年度事業報告・収支決算

②公認会計士等による助言・指導

法人運営の透明性を高めるための公認会計士・税理士等による助言・指導

③関係機関との連携強化

- ・町会、公民館、婦人会、老人会等の地域福祉推進関係団体との連携強化
- ・医師会、歯科医師会、薬剤師会、弁護士会、司法書士会、社会福祉士会、ソーシャルワーカー協会、地域包括支援センター、障害者機関相談支援センター、福祉保健センター、児童相談所、相談支援専門員協会、警察、ハローワーク、保護観察所等の専門機関との連携強化
- ・福祉・介護サービス提供事業所、善隣館、ボランティアグループ、NPO、大学・専門学校、企業、教育委員会、行政等の関係機関との連携強化

(2) 専門部会（保育部会、老人福祉施設連絡会、地域デイサービス部会、障害児・者福祉施設連絡会の調査研究、関係機関との連携強化

ア 保育部会

- ・理事会（12回）※5月…書面審議 8月・9月…WEB会議
総会（2回）※5月…書面審議
- ・理事長・所長研修会（4回）※WEB
テーマ「自園で新型コロナウイルスの感染者が出たとき」（65人参加）
「保育所及び認定こども園のICT活用について」（48人参加）
「同一労働・同一賃金の原則を踏まえた労務環境づくり」（38人参加）
委員会報告及び行政説明（62人参加）
- ・こどもすくすくランド → 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- ・専門委員会による調査、研究
第1委員会（環境改善）…3回
第2委員会（人材確保）…新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動休止
第3委員会（保育保健）…2回
第4委員会（広報）…8回
- ・金沢市保育医療連絡協議会等と連携しての調査・研究、研修

イ 金沢市障害児・者福祉施設連絡会

- ・連絡会議（6月・3月）※書面表決、役員会（4月・2月）開催
- ・新型コロナウイルス感染症対策に関する金沢市への要望書の提出（5月）
- ・金沢市高齢者・障害者施設新型コロナウイルス感染症クラスター対策に係る意見交換会（8月）
- ・職員研修会
名称：「虐待防止・権利擁護」オンライン研修会（1月、ホライ7人、会場2人）
- ・市民体育館・プール無料開放への参加（体育館：1施設4人、プール：1施設5人）
- ・連絡会専用ホームページのリニューアル
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
 - ・グラウンドゴルフ大会
 - ・レクリエーションボッチャ大会
 - ・プラザ祭り、福祉のつどいへの参加

ウ 老人福祉施設連絡会（会費免除対応）

- ・役員会（1回）、総会（1回）※書面審議
- ・施設職員の自主研修費の助成（21施設に助成）
- ・新型コロナウイルス感染症対策に関する実態調査（41施設）
- ・情報交換会「新型コロナウイルス感染症対策や課題について」（23人）
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
 - ・施設長等研修会
 - ・職員研修会
 - ・施設間交流促進事業
 - ・社会福祉法人の社会貢献活動研究事業
研究会の開催、地域貢献活動情報交換会

エ 地域デイサービス部会（会費減額対応）

- ・部会会議（2回）
- ・デイサービス事業の実態調査（2回・経営状況、総合事業の取り組み等）
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
 - ・職員研修検討等実務担当者会議
 - ・全体研修会
 - ・職員研修会
 - ・一日体験研修・職場訪問研修
 - ・利用者作品展の開催

(3) 職員の資質向上・やりがいのある職場づくり

- ア 職員研修（27回、延べ39人が受講） ※うち18回は、オンライン形式
- ・新任職員研修等の実施
 - ・外部研修への参加

イ 職員の資格取得支援

- ・社会福祉士等国家資格取得に係る費用の一部助成
- ・社会福祉士等国家資格取得に係るスクーリング期間等の職務専念義務の免除

ウ 職員への社会貢献活動への参加の支援

(4) 事務の効率化の推進

インターネット環境の整備

事務局内のインターネット環境の整備及びネットワークセキュリティの強化

(5) 金沢市松ヶ枝福祉館の管理運営 (指定管理事業)

①金沢市松ヶ枝福祉館の管理運営

ア 自主的活動の支援

- ・利用登録団体 (市内のボランティアグループ、福祉・保健・医療等関係機関・団体)
339団体

・研修室等利用状況

利用者数：18,222人、研修室等利用：1,441回

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4/15～9/30 貸館休止

イ 利用者満足度アンケート (165人回答)

「満足」「やや満足」：49.7%、「普通」：44.2%、

「やや不満」「とても不満」：1.8%、「無回答」：4.2%

②福祉保健総合相談事業

(認知症の人と家族の会石川県支部、裁判所職員OB会等と連携した相談活動)

ア 福祉なんでも相談・認知症に関する介護相談：27,158件

イ 民事・家事に関する法律相談：17件

(6) 新型コロナウイルス感染症への対応

①利用者及び関係者の感染防止対策

ア 管理施設に手指消毒液、AI検温器を設置

イ 消毒・換気の徹底

ウ 利用定員等の制限

エ 不要不急の会議・研修の中止または延期

②役職員の感染防止対策

ア 手指消毒・マスク着用・検温等の徹底

イ 相談ブースへのアクリル板設置

(7) 防犯体制の強化

職員及び利用者の安全確保、被害の拡大防止、犯罪行為の抑止を図るため、事務室及び相談室内に警察通報用の非常通報装置を設置